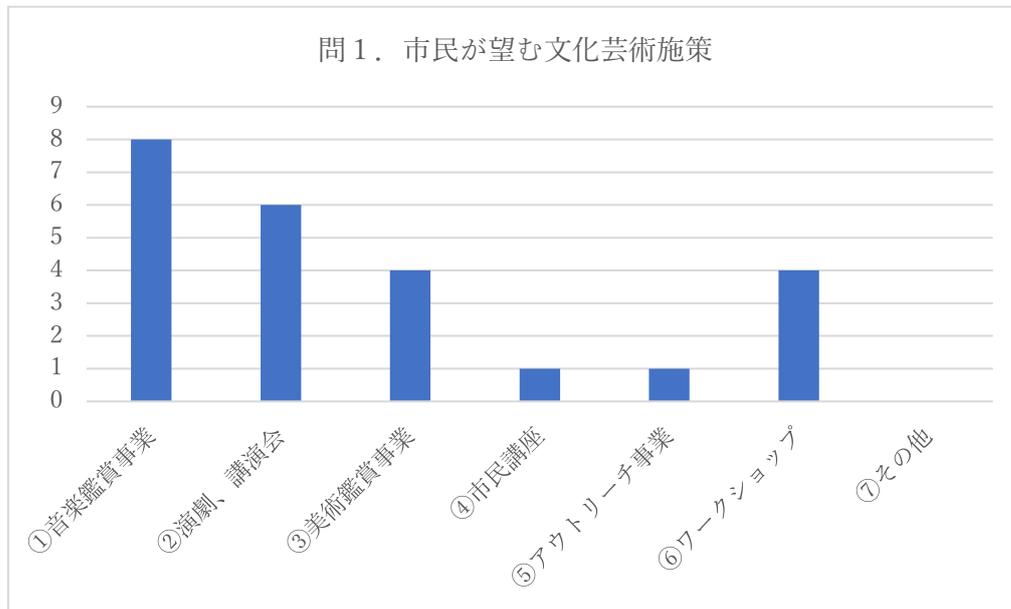


## Y B a c t 事前アンケート結果

### 問 1. 市民が望む文化芸術施策は何だと考えますか



#### ○ 展示室などを使った絵画・彫刻・書など美術鑑賞事業の具体例

- ・個人、団体がいつでも使用できるような安価な貸館設定を
- ・木彫、書、写真、華道、絵画
- ・地域で活動されている団体や個人の作品展示や賞をもらった作品などレベルの高い作品展示を提供する。
- ・企画や展示のお手伝いができる。
- ・どこの地域に住んでいても公平に発表の機会を提供し応援することが大切だと思う。大屋町が「芸術家のまち」と言われて久しいが、大屋町以外に住むアーティストを養父市がサポートすることはほとんどなかった。

#### ○ 市民講座の充実の具体例

- ・学習障害のある生徒に特化した指導をされている方に家庭学習の秘訣を講義してもらう。
- ・草庵先生が日常生活で大切にされていた考え方や習慣について講義してもらう。
- ・ケアとまちづくりとアートについて語ってもらう。

#### ○ プロ等によるアウトリーチ（出前講座）事業の具体例

- ・料理教室、園芸教室、絵画教室
- ・演奏会とのタイアップ、子どもへの楽器教室
- ・私は 10 数年前に絵画教室をやっていた。近所の年配の女性が集まって世間話をしながらもきっちり絵を完成して行って年に一回展覧会をしていた。皆さん心に表現したいことがあってそれを絵にできた時はすごい喜びなんだということを教えてもらった。また私の車で京阪神の美術館を訪ねたり、屋外にスケッチに出かけた。そんな絵画教室をボランティアでやってみたい。

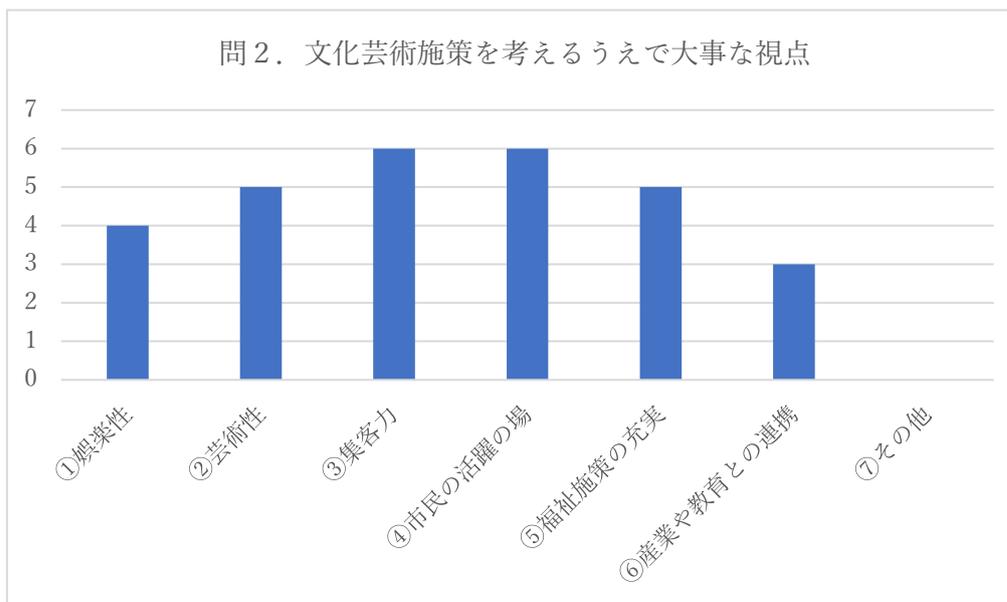
#### ○ 多種多様なワークショップの実施の具体例

- ・音楽・楽器、演劇、ダンス・舞踊、武道、書道、茶道、華道など、体験できるワークショップ

補足欄（上記に書ききれなかったこと、補足すべきことがあればお書きください）

各地域の文化祭で書道や写真、華道の作品が多く、趣味として市民の愛好家が多いと思います。プロの作家の作品と公募展。プロの作家の講演会、講習会など趣味のプラスαになる関連性のある、例えばテーマを決めて写真公募展をしてプロの写真家も同じテーマで作品を出してもらい、講演会や写真教室をするなど、参加したくなると思います。

## 問2. 養父市において文化芸術施策を考えるうえで大事な視点は何だと考えますか



### ○ 市民の活躍の場の具体例

- ・料理教室、手芸教室、絵画教室 etc を通じた交流の場
- ・おおやホールでこれまでも20才台くらいの若いピアノを愛する人を支援するコンサートを行ってきました。地域の中で将来への夢を助ける活動を作っていく場にしていきたく思います。
- ・地域で活動されている団体や個人の発表会や各種研修会
- ・広く市民に発表の場を提供する。市民もいろいろなタイプの芸術を鑑賞したい。
- ・はじめてさんの音楽会とか

### ○ 文化芸術を活用した子育て、高齢者、障がい者など福祉施策の充実の具体例

- ・プロの音楽家の演奏会に子どもたちとセッションするなど。
- ・「がっせいアート」さんの展覧会を支援するなど。

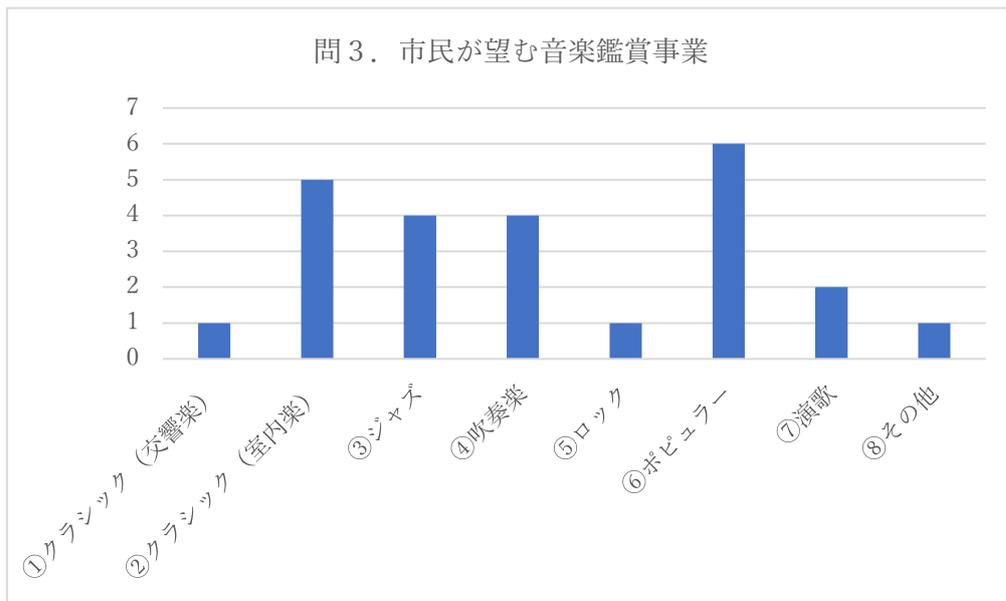
### ○ 文化芸術と産業や教育施策などとの連携の具体例

- ・演奏会とのタイアップ、子どもへの楽器教室
- ・やぶ市民交流広場の絵を募集して展示する。
- ・市内の中学生や高校生に「養父市と自分たちの未来」について考えてもらい発表する。

#### 補足欄（上記に書ききれなかったこと、補足すべきことがあればお書きください）

- ・娯楽性の高い集客力のある公演は、養父市民以外の方も興味があるので、市民枠や事前販売などの対策をして、市外の人が多いようにならないように配慮してほしいです。
- ・若いアーティストの発掘（含むオケ、楽団）→スタッフ・関係者の良いものを聴く耳、選べる耳を養うことにつなげる、人材育成の視点
- ・名の知られた人のコンサートでなくても地域の人が出演や発表をする事業には多くの参加者がありました。地域文化の底上げにつながる企画も大切だと考えています。
- ・市内音楽団体に安価で発表の場を提供する。
- ・ブラスクリニックを実施する。

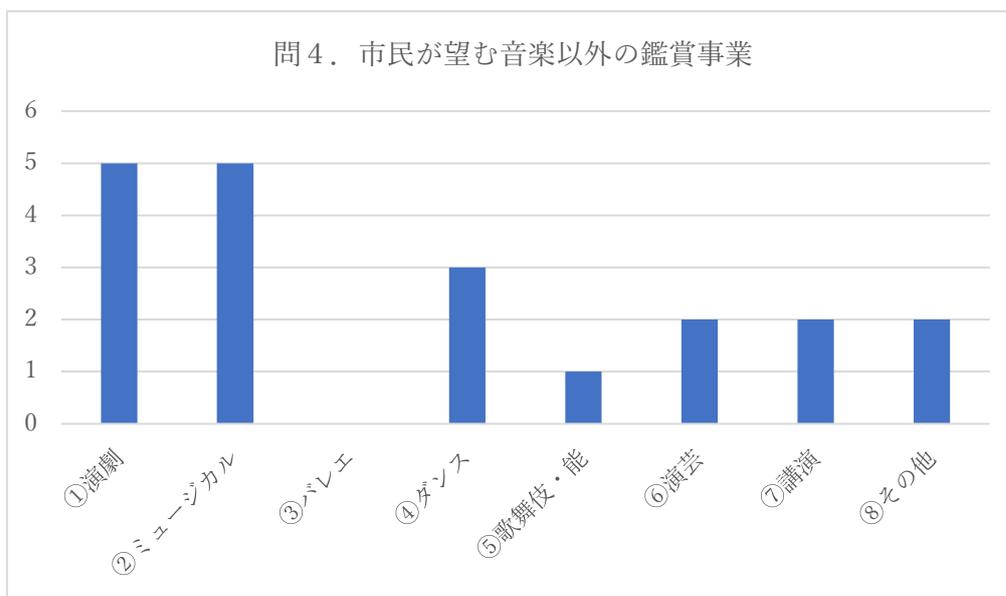
問3. 市民が望む市内のホールを使った音楽鑑賞事業は何だと考えますか。



⑧その他の内容

- ・全てをバランスよく、ホール規模を考慮して

問4. 市民が望む市内のホールを使った音楽以外の鑑賞事業は何だと考えますか。



⑧その他の内容

- ・映画
- ・全てをバランスよく、ホール規模を考慮して

問5. その他自由意見があればお書きください

- ・文化庁の「文化芸術創造拠点形成事業」などの活用を目指すために、具体的なYBファブの活用案に並行して、養父市の文化芸術の推進方針を明確にするべきです。その中心にチェロコンや公募木彫フォークアート展、せきのみや子ども歌舞伎やざんざか踊り（大杉・九鹿）、ざんざこ踊り（若杉）など国や県無形民俗文化財など長年続けてきた活動を活かしてその後どう広げていくか決めてほしいと思います。
- ・子ども、学生、若者がふれあえる、関われるものができるとういと思う。アイデア、企画、広報、実行に直接かかわることで「ふるさと養父市」にさらに愛着がもてるといいと思う。
- ・情報周知のあり方の工夫
- ・市内各ホールで培ってきた催しは、それぞれの地域の特性とつながっています。それを支えてきた人たちが元気に活動できるよう、中央の企画として支援していくことも大切だと思います。
- ・交響曲はホールのサイズから困難で、他のホール開催でいいと考えます。中編成の室内楽はY Bホール、小編成の室内楽はビバホールといった機能に応じた開催が望ましいと考えます。ジャズフルバンド、吹奏楽はY Bホール、ピアノトリオはビバホールなど。